

令和 5 年 6 月 30 日

各位

会社名 夢みつけ隊株式会社
代表者名 代表取締役 佐々木 ベジ
(コード番号：2673、東証スタンダード)
問合せ先 経理・財務担当 羽沢 一也
(TEL. 03-6635-1791)

「スタンダード市場」上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況
及び計画書の更新について

当社は、スタンダード市場を選択し、令和 3 年 12 月 28 日に新市場区分「スタンダード市場」選択に関するお知らせ及び新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。

令和 5 年 3 月 31 日基準日時点における計画の進捗状況等について、下記の通り作成しましたので、お知らせいたします。

1. 上場維持基準の適合状況

当社の令和 5 年 3 月 31 日基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め下表のとおりであり、令和 5 年 3 月 31 日時点で「流通株式時価総額」について基準を充たしておりません。上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (千円)	流通株式比率 (%)
スタンダード市場 上場維持基準	400 以上	2,000 以上	1,000,000 以上	25.0 以上
令和 3 年 6 月 30 日	2,180	46,954	690,070	44.8
令和 5 年 3 月 31 日	2,332	46,935	522,074	44.8
適合状況	○	○	×	○

2. 計画期間

上場基準を満たすための計画期間は、令和9年3月期末までとし、本計画書に記載する各取組みを実行してまいります。

3. 取組の基本方針

流通株式時価総額を上昇させるためには、「流通株式比率」と「株式時価総額」を、向上させなければなりません。当社は、特に「株式時価総額」の向上を基本方針とし、上場維持基準適合を目指してまいります。

4. 課題

当社は、株主数、流通株式数、流通株式比率は上場維持基準を充足していながら、流通株式時価総額のみが基準に達していないという結果の主たる要因は株価の低迷にあり、その原因は売上高営業利益率の低下にあると認識しております。令和3年7月9日に東京証券取引所から通知された「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」において、令和3年4月から6月の日々最終価格の平均値が146.9円でありましたが、流通株式数とその算出基準日である令和3年3月31日現在と同水準であると仮定した場合、流通株式時価総額の基準である10億円を充たすためには、株価213円以上が必要となります。以上のことを踏まえ、当社の株式の価値を高めるための取組みを実施し、株価の上昇、そして持続的な安定が課題であると考えております。

5. 取組み内容

時価総額向上に関する取組み

◆売上の向上

以前までは主に中高年男性市場をターゲットに、より深く、徹底した商品開発を行ってきましたが、消費が落ち込んでいる現状においては、ターゲット層を拡大していくことが売上げ向上に必要であると考えております。そこで、男性だけでなく女性にも焦点を当て、当社の独自のシステムと路線を継承しながら高品質で高付加価値型商品、サービスを提案できるよう検討してまいります。また、コロナウイルスの蔓延によりお客様のニーズは大きく変化したと感じております。今後は、with コロナに対応した商品や、消費者の健康意識向上による運動・ストレッチ器具、屋内でも十分に楽しめる娯楽品等、以前よりもさらに、ニーズにマッチした商品開発を行い、カタログ1刷あたりの売上が30%向上させることを目標とします。

また、カタログ作成の効率化や一部外注化により、発行頻度を上げ、準会員へもカタログを送付する等で発行1回あたりの部数も増加させ、トータルで30%増加させることを目標とします。

本取組みは、令和6年3月期末までを改革期間とし、それ以降は令和9年3月期末を期限に売上向上の成長期としております。令和9年3月期末時点において、売上高10億円、営業利益2億円を業績目標として設定しております。

◆コーポレートガバナンスの強化

コーポレートガバナンスの強化は、企業価値向上を目指すうえで必要不可欠であると認識しております。今後は、独立社外取締役の、経営全般の監督機能や、取締役会の透明性向上に関する権限を増加すると共に、新たに独立社外取締役を1名選任できるよう検討してまいります。

6. 取組みの実施状況並びに今後の取組内容

◆売上の向上

カタログ1刷当たりの売上増額、カタログの増刷をそれぞれ30%の向上を目標としておりますが、令和5年3月31日時点において、収益性の低いカタログの休止並びにリニューアル準備段階となっております。

令和9年3月末の売上目標10億円、営業利益2億円に対し、令和4年3月末時点の売上は5.5億円、営業利益は-5百万円。令和5年3月末時点の売上は2.6億円、営業利益は-36百万円となっております。取組に遅れが出ていることから、令和6年3月末までの改革期間を令和7年3月末までとし、それ以降の令和9年3月末までを売上の向上期間と変更いたします。

◆コーポレートガバナンスの強化

取組内容としております独立社外取締役1名選任は令和5年3月31日時点において実現できておりません。理由としまして、令和5年3月期末まで営業赤字であった為、取締役の増員を保留しております。引き続き経営状況を踏まえながら独立社外取締役1名の選任を検討してまいります。

以上